



報道関係各位

## GE ヘルスケア・ジャパン

### 地域医療連携を強力にサポートする“Centricity Solutions”を発売

～標準規格対応のシステムおよび最新ビューワにより、医療情報の一元管理と連携を加速  
読影医や患者の負担軽減にも貢献～

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社(本社:東京都日野市、代表取締役社長兼 CEO:川上潤)は、7月21日(火)、当社の最新高機能ビューワ(画像表示装置)「Centricity Universal Viewer 6.0(セントリシティ・ユニバーサル・ビューワ 6.0)」と統合画像管理・参照システム「Centricity Clinical Archive 6.0(セントリシティ・クリニカル・アーカイブ 6.0)」から構成される「Centricity Solutions(セントリシティ・ソリューションズ)」の発売を開始します。

人口構成が突出している団塊の世代がすべて75歳以上となるいわゆる「2025年問題」を前に、地域主体の医療への移行が喫緊の課題となっており、患者を中心とした医療の実現と地域医療連携は今後ますます重要となります。しかしながら、地域医療を加速するために不可欠である医療ITの活用が成熟していない日本では、情報の一元管理システムの標準化が遅れており、施設内および病院間での患者情報の共有や管理が進んでいないのが現状です。また、情報の共有と管理に膨大な手間やコストがかかっていることもあり、コスト削減も含めた医療IT環境の整備・標準化のニーズが高まっています。

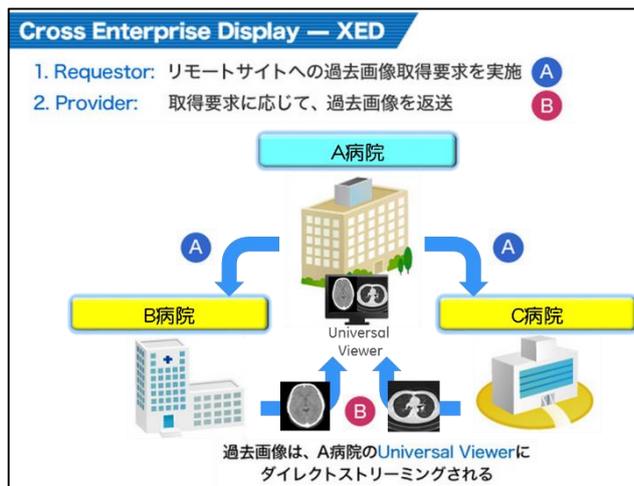
この度発売する「Centricity Solutions」は連携機能を強化し、他の医療機関にある患者の過去画像との比較・読影も行える「Centricity Universal Viewer 6.0」と、院内に点在している異なるベンダーの医療情報を一元管理できる Vendor Neutral Archive (VNA)を提供する「Centricity Clinical Archive 6.0」により、院内の業務フローの効率化および診療の質の向上に加え、今後ますます必要となる病院、病診連携の促進に貢献することが期待できます。

#### 施設間患者画像データ連携(XED)を強化した Centricity Universal Viewer6.0で診療品質を向上、患者負担の軽減へ

GE ヘルスケア・ジャパンは、患者を中心に据えた最適な医療の提供を目指し、国内でいち早く特定のベンダーの制約を受けずに施設間の画像連携を行える「Cross Enterprise Display (XED)」を「Centricity Universal Viewer 6.0」に搭載しました。これにより、過去画像の参照による読影品質の向上を実現するだけでなく、重複検査を回避することで患者の被ばく低減、負担軽減につながり、患者を中心とした、より一層 Lean (リーン)な医療システムを実現することが期待されています。

また、日本特有の課題として、読影効率の向上とワークフローの改善があります。診断機器の高性能化に伴い検査効率は向上し、一日に行える検査数や一度に入手する画像数が増大しました。しかしながら、

撮影画像を診断する読影医の数は国内で約5,700人と米国に比べて約5分の1、また人口100万人あたりの読影医数も平均約36人(米国に比べて約3割)と極めて少ないのが現状です\*1。



このように読影医の負担が増加する中、更なる読影効率の向上とワークフローの改善を目指しているのが「Centricity Universal Viewer 6.0」です。従来のスマート・リーディング・プロトコル機能\*2に加え、解剖学的な位置情報から画像の形状を比較し、自動的に高精度な位置合わせを行う Image Registration (イメージ・レジストレーション) 機能が加わり、読影時の負担を大幅に軽減することが期待されています。さらに、2D 画像の読影を行いながら 3D 画像の作成を可能とする Advanced Application (AA) と呼ばれる高度な読影支援機能を統合することで、読影精度を高め、診療品質の向上につなげることを目指します。

\*1: 出典: 日本放射線科専門医会作業グループ「2007 Global Survey of Radiologists」(2008 年 7 月 3 日)

\*2: ユーザーが好む画像の配置 (ハンギングプロトコル) を学習する機能

### **標準規格に対応した医療情報の一元管理 (VNA) を提供する Centricity Clinical Archive 6.0 で部門・医療機関を越えた情報連携**

「Centricity Clinical Archive 6.0」では、医療情報連携の国際標準規約の一つである IHE XDS 統合プロファイルに準拠した Vendor Neutral Archive (VNA) により、特定システムベンダーの制約を受けない標準インターフェースで医用画像及びドキュメントを保管可能にしました。各診療科に点在していた医療情報の一元管理及び参照が可能となり、院内の業務フローを効率化し病院内のみならず病院外との連携をも強化します。これは、医療 IT の標準化、コストの削減、患者情報を一元的に参照することによる診療品質の向上および重複検査を減らし、患者の負担軽減にもつながります。

また、保管している医用画像に対し独自の管理運用ルールを設定できる Image Lifecycle Management (イメージ・ライフサイクル・マネジメント) 機能を採用することで、保存容量の効率化及び保存コストの削減を実現します。

GE ヘルスケア・ジャパンはこのたび発売する「Centricity Solutions」により、今後も医療 IT を活用し、日本が直面する超高齢社会に不可欠な地域医療連携をサポートしてまいります。

### ■ **「Centricity Universal Viewer 6.0」製品特長**

#### • **GE 独自の SRP (Smart Reading Protocol) による読影生産性の向上**

読影医ごとに読影レイアウトを学習、記憶し、画像を最適なレイアウトで表示出来ることにより、画像表示後の並び替えの時間を短縮し、読影生産性の向上を可能とします。

#### • **Image Registration による更なる読影生産性の向上**

従来のスマート・リーディング・プロトコル機能\*2に加え、過去画像や CT、MRI、PET の各組み合わせのモダリティ画像を並列表示する際、解剖学的な位置情報から画像の形状を比較し、自動的に高精度な位置合わせを行う Image Registration (イメージ・レジストレーション) 機能が加わり、比較読影時の負担を大幅に軽減することが期待されています。

#### • **Advanced Application による診療品質の向上**

2D 画像の読影を行いながら 3D 画像の作成を可能とする Advanced Application (AA) と呼ばれる高度な読影支援機能を統合することで、読影精度を高め、診療品質の向上を可能とします。

#### • **XED (Cross Enterprise Display) による施設間画像連携の強化**

他の医療機関にある患者の過去画像を取得し、今回の画像との比較読影を可能にする **XED (Cross Enterprise Display)** 機能を搭載し、地域医療連携を強力にサポートします。これにより、過去画像の参照による読影品質の向上を実現するだけでなく、重複検査を回避することで患者の被ばく低減、負担軽減することが期待されています。

## ■ 「Centricity Clinical Archive 6.0」製品特長

### •VNA (Vendor Neutral Archive)による医療情報の一元化

医療情報連携の国際標準規約の一つである IHE XDS 統合プロフィールに準拠した Vendor Neutral Archive (VNA)により、特定システムベンダーの制約を受けない標準インターフェースで医用画像及びドキュメントを保管可能にしました。各診療科に点在していた医療情報の一元管理及び参照可能となり、院内の業務フローを効率化し病院内のみならず病院外との連携をも強化します。これにより、医療 IT の標準化、コストの削減、患者情報を一元的に参照することによる診療品質の向上および重複検査を減らし患者の負担軽減にもつながります。

### •ILM (Image Lifecycle Management)によるコスト削減

保管している医用画像に対し独自の管理運用ルールを設定できる Image Lifecycle Management (イメージ・ライフサイクル・マネジメント)機能を採用することで保存容量の効率化及び保存コストの削減を実現します。

製品名:	Centricity Solutions for Enterprise Imaging Centricity Universal Viewer 6.0 Centricity Clinical Archive 6.0
承認販売名:	セントリシティ・ユニバーサル・ビューワ
発売日:	2015 年 7 月 21 日
医療機器承認番号:	225ABBZX00019000

## GE ヘルスケア・ジャパンについて

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社は、世界が直面する困難な課題解決に取り組む GE ヘルスケアの中核拠点の 1 つとして、1982 年に設立されました。国内に開発、製造から販売、サービス部門までを持ち、日本のお客様のニーズにお応えする、先端的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスをお届けしています。CT や MRI、超音波診断装置などの医療用画像診断から、体内診断薬、細胞解析装置などのライフサイエンス(生命科学)まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GE の世界戦略「ヘルシーマジネーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現を目指します。2015 年 4 月 1 日現在の社員数は 2,000 名、国内に本社および 54 カ所の事業拠点。

ホームページアドレスは [www.gehealthcare.co.jp](http://www.gehealthcare.co.jp) (ライフサイエンス統括本部: [www.gelifesciences.co.jp](http://www.gelifesciences.co.jp))。

<お問い合わせ先>

GE ヘルスケア・ジャパン(株) コミュニケーション本部 ブランチャード/松井  
Tel: 0120-202-021